

[成果情報名] 富士北麓地域におけるコナガの防除薬剤に対する感受性低下

[要約] 富士北麓地域のコナガは、フルベンジアミド水和剤に対し感受性が低下している。スピノサド水和剤、エマメクチン安息香酸塩乳剤、アセタミプリド水溶剤に対しては感受性の低下は認められない。

[担当] 山梨総農セ・環境部・作物病害虫科・國友義博

[分類] 技術・普及

[課題の要請元] 総合農業技術センター農業技術普及部、全農山梨県本部

[背景・ねらい]

近年、富士北麓のキャベツ産地において、コナガによる被害がみられ、薬剤の殺虫効果の低下が懸念されている。

そこで、コナガに対する薬剤の感受性試験を行い、有効薬剤の選定資料とし、防除指導に役立つ。

[成果の内容・特徴]

1. ジアミド系のフルベンジアミド水和剤に対し、鳴沢地域において、感受性の低下したコナガが認められ、殺虫効果が低い(表1)。
2. スピノシン系のスピノサド水和剤、マクロライド系のエマメクチン安息香酸塩乳剤、ネオニコチノイド系のアセタミプリド水溶剤に対し、感受性の低下したコナガは認められず、殺虫効果は高い(表1)。

[成果の活用上の留意点]

1. 本試験で供試した鳴沢ほ場のコナガは、異なる系統薬剤をローテーション散布している地域から採取した。
2. 他県では、フルベンジアミド水和剤に対し、コナガの感受性が低下している事例が報告されている。
3. 山梨県では、ジアミド系の他の薬剤について、コナガの感受性は未検討である。
4. フルベンジアミド水和剤を除いた、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
5. 薬剤の選定および使用にあたっては、指導機関等に相談するとともに、山梨県病害虫防除所が発表する発生予察情報等を参考にし、適期防除を行う。

[期待される効果]

1. コナガに対する有効薬剤の選定資料となり、効果的な防除に役立つ。

[具体的データ]

表1 コナガ3齢幼虫に対する各薬剤の殺虫効果(2014年)

薬剤の系統	供試薬剤 (成分名)	希釈倍率	殺虫効果						
			鳴沢 A ほ場		鳴沢 B ほ場		鳴沢 C ほ場		甲斐市 ほ場
			1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	
ジアド系	フルベンジアド水和剤	2,000倍	×	×	×	×		×	
スピリドン系	スピリドン水和剤	2,500倍							
マクロライド系	イマクトリン安息香酸塩乳剤	1,000倍			-			-	
ネオニコチノイド系	アセチルグリド水溶剤	1,000倍			-			-	

試験は、5cm×5cm角のキャベツ葉を所定濃度に希釈した各薬剤に、1分間浸漬し、風乾後、3齢幼虫10頭(3反復)を寄生させ、シャーレ内で行った。殺虫効果は、48時間後に生存数、死亡虫数を調査し、補正死虫率から求めた。

補正死虫率 : 90%以上、 : 70%以上～90%未満、 : 50%以上～70%未満、× : 50%未満、 - : 未実施

補正死虫率(%) = (無処理区の生存率 - 処理区の生存率) / 無処理区の生存率 × 100 Abbottの補正式(1925)

甲斐市ほ場は、総合農業技術センター本場のほ場である。

[その他]

研究課題名：薬剤に対する耐性菌及び感受性低下害虫のリスク管理

予算区分：県単

研究期間：2014～

研究担当者：國友義博、金谷未央